

2025年03月01日～2025年03月07日（第24-48号）

**■■　目次　■■**

[**【週間官公庁・地方法令情報（先週8件）】** 1](#_Toc192756641)

[**【重点企業・工業団地リスト（先週8リスト）】** 4](#_Toc192756642)

[**【環境プロジェクトリスト（先週3リスト）】** 5](#_Toc192756643)

[**【中央及び経済発達地区の週間環境処罰・取締情報(先週4件)】** 5](#_Toc192756644)

[生態環境省：京津冀第3次監督・支援事業を立ち上げ 5](#_Toc192756645)

[**【中央の環境政策、法令、基準、規則、計画】** 6](#_Toc192756646)

[全人代報告：グリーン・低炭素分野の内容 6](#_Toc192756647)

[生態環境省等：企業GHG情報自主開示に関する意見 6](#_Toc192756648)

[国家税務総局：GHG排出権取引、CCER等に増値税6％を適用 7](#_Toc192756649)

[汚染源オンラインモニタリング設備調整期間のデータで処罰できるか 8](#_Toc192756650)

[GB30000『化学品分類・ラベル安全規範 第X部：鈍性化爆発物』審査版 8](#_Toc192756651)

[工業・情報化省：産業基準公示　CO2回収、グリーン工場評価等多数 9](#_Toc192756652)

[工業・情報化省：産業基準計画　廃車冷媒回収、石油化工スマート工場等多数 9](#_Toc192756653)

[**【地方の環境政策、法令、基準、規則、計画】** 10](#_Toc192756654)

[地方環境局：工業騒音・工業廃棄物を早急に排出許可に盛り込むよう通達相次ぐ 10](#_Toc192756655)

[上海市生態環境局：2025年生態環境企業向け行政検査計画を配布 10](#_Toc192756656)

[上海市：環境アセス・排出許可制度連携改革で実証事業　企業負担軽減 12](#_Toc192756657)

[浙江省：15産業の環境面参入規制指導意見改定を解説 13](#_Toc192756658)

[山東省記者会見：グリーン・低炭素事業状況を解説 13](#_Toc192756659)

[広東省惠州市惠陽区：工業騒音・固形廃棄物の汚染排出許可管理を加速 14](#_Toc192756660)

[広東省佛山市：工業騒音・固形廃棄物の排出許可管理への導入を加速へ 15](#_Toc192756661)

[**【環境ビジネス】** 15](#_Toc192756662)

[全国GHG自主排出削減取引市場で第1次の認証済み自主排出削減量が登記 15](#_Toc192756663)

[**【個別環境プロジェクト】** 16](#_Toc192756664)

[安徽省馬鞍山市：中冶華天が年陡汚水処理場第1期・管網事業を落札 16](#_Toc192756665)

[雲南省文山州硯山県：北エリア汚水処理インフラ建設事業で入札 16](#_Toc192756666)

[雲南省臨滄市雲県：北京国益が汚水ゴミ収集処理施設整備事業を落札 16](#_Toc192756667)

[四川省眉山市：海天股份が汚水処理事業を落札 16](#_Toc192756668)

[**【その他環境情報（先週5件）】** 16](#_Toc192756669)

[**【カーボンニュートラル（先週0件）】** 17](#_Toc192756670)

[**【環境展示会・シンポジウム情報】**(新規/更新情報は赤字) 17](#_Toc192756671)

## **【週間官公庁・地方法令情報（先週8件）】**

中央法令

＜国家認証認可監督管理委員会＞

認証認可産業基準制改定計画事業22件の下達に関する通達

・持続的発展報告書の第三者保証 規範化ガイドライン

https://www.cnca.gov.cn/zwxx/tz/2025/art/2025/art\_db743fbd370149f880bb1ef809019c61.html

地方法令

＜北京市緊急対応管理局＞

全国政治協商会議・人民代表大会期間の市危険化学品関連安全生産管理措置の公表に関する通告

https://www.huaxiataike.com/news/75696.html

＜山東省人民代表大会常務委員会＞

山東省グリーン・低炭素高品質発展促進条例

http://fgw.shandong.gov.cn/art/2025/1/27/art\_104864\_10458026.html

＜福建省福州市工業・情報化局＞

『福州市工業分野GHGピークアウト実施方案』パブコメ版

https://www.fuzhou.gov.cn/zgfzzt/sjxw/fzjx/tzgg/202503/t20250304\_4983932.htm

＜広東省生態環境庁＞

ODS（オゾン層破壊物質）届出及びデータアップロード管理事業の実施に関する通達

https://gdee.gd.gov.cn/shbtwj/content/post\_4677239.html

『広東省2024年GHG排出枠分配方案』

https://gdee.gd.gov.cn/shbtwj/content/post\_4679397.html

＜広東省東莞市生態環境局＞

関連生産経営事業者の安全生産規章制度構築・整備促進に関する通達

https://dgepb.dg.gov.cn/zwgk/tzgg/content/post\_4349626.html

＜広東省珠海市生態環境局＞

『珠海市環境保護条例（改定草案）』

https://ssthjj.zhuhai.gov.cn/hdjlpt/yjzj/answer/42411

中央簡易法令情報（生態環境省）

2025年第2次新規化学物質環境管理登記証変更審査結果に関する公開

https://www.mee.gov.cn/ywgz/gtfwyhxpgl/hxphjgl/xhxwz/202503/t20250306\_1103483.shtml

2025年第2次新規化学物質環境管理簡易登記証審査結果に関する公開

https://www.mee.gov.cn/ywgz/gtfwyhxpgl/hxphjgl/xhxwz/202503/t20250306\_1103482.shtml

2025年第2次新規化学物質環境管理通常登記証審査結果に関する公開

https://www.mee.gov.cn/ywgz/gtfwyhxpgl/hxphjgl/xhxwz/202503/t20250305\_1103408.shtml

生態環境省黄潤秋大臣：政治協商会議・人民代表大会でのぶら下がり記者会見

https://www.mee.gov.cn/ywdt/zbft/202503/t20250308\_1103595.shtml

生態環境省環境条約履行技術センター：3種のPFAS類物質の参考リスト関連情報を募集

・長鎖PFCAs及びその塩類・化合物参考リスト

・PFOA及びその塩類・化合物参考リスト更新版

・PFHxS及びその塩類・化合物参考リスト更新版

http://www.fecomee.org.cn/dtxx/tzgg/202502/t20250225\_1102832.html

中央簡易法令情報（他省庁）

国務院：『金融「5つの大文章」実施に関する指導意見』、グリーン金融を含む

https://www.solidwaste.com.cn/news/356562.html

国務院安全生産委：『危険化学品「1件事」全作業チェーン安全管理の強化に関する措置』

http://www.hcls.org.cn/article/232826.html

工業・情報化省、国家市場監督管理総局：『スマートコネクテッドカー製品の参入規制・リコール・ソフトウェアオンライングレードアップ管理の更なる強化に関する通達』

https://www.china5e.com/news/news-1185660-1.html

緊急対応管理省：『緊急対応管理省固定資産投資事業管理弁法』

https://www.mem.gov.cn/gk/zfxxgkpt/fdzdgknr/202503/t20250307\_521827.shtml

緊急対応管理省：11基準の意見募集に関するお知らせ

・『マグネシウム・マグネシウム合金精錬安全規範（パブコメ版）』

・『アルミ・アルミ合金板・ベルト・箔生産安全規範（パブコメ版）』

・『可燃性粉塵爆発抑制安全規範（パブコメ版）』

・『可燃性粉塵爆発隔離安全規範（パブコメ版）』

・『可燃性粉塵不活性化安全規範（パブコメ版）』

・『可燃性粉塵集塵システム防爆安全規範（パブコメ版）』

・『紡織工業粉塵防爆安全規範（パブコメ版）』

・『高炉瀝青炭吹込みシステム防爆安全規範（パブコメ版）』

・『可燃性粉塵爆発リスク評価・特性パラメータ測定方法（パブコメ版）』

・『ゴム・プラスチック製品加工システム粉塵防爆安全規範（パブコメ版）』

https://www.mem.gov.cn/gk/zfxxgkpt/fdzdgknr/202503/t20250307\_521874.shtml

中国気象局：『中国気候公報(2024年)』

https://www.china5e.com/news/news-1185569-1.html

経済発展地方簡易法令情報

北京市生態環境局等7部局：『北京市国Ⅳ(国家エンジン車排気ガス規制基準第4フェーズ)以下対応の旧式貨物自動車及び中・大型バス廃棄更新促進実施細則』

https://sthjj.beijing.gov.cn/bjhrb/index/xxgk69/zfxxgk43/fdzdgknr2/zcfb/543377609/743551540/index.html

北京市発展改革委等：持続的発展情報開示実証企業の募集に関する通達

https://news.bjx.com.cn/html/20250303/1429957.shtml

上海市生態環境局：『2025年上海市企業対象生態環境行政検査計画』

https://sthj.sh.gov.cn/hbzhywpt2025/20250228/898a1ccdd7e9438fb3df9f6c2ef55cc8.html

上海市生態環境局：『市環境行政部門による企業対象行政検査の規範化実施方案』

https://sthj.sh.gov.cn/hbzhywpt2025/20250228/447b469da6b14881b1772665867b7989.html

上海市経済情報化委：2025年環境設備製造業規範条件企業の申請受付に関する通達

https://www.shanghai.gov.cn/gwk/search/content/3923e7781c0f4550909aca06bd2f8af4

上海市浦東新区科学技術・経済委員会：2025年浦東新区省エネ・低炭素特定資金申請受付に関する通達

https://www.pudong.gov.cn/zwgk/14553.gkml\_ywl\_cyjgdz/2025/66/338910.html

安徽省生態環境庁：『安徽省重点規制新汚染物リスト（2024年パブコメ版）』

https://sthjt.ah.gov.cn/public/21691/122747871.html

広東省広州市市場監督管理局：『都市汚水処理場GHG排出算定・低炭素運行技術ガイドライン』（パブコメ版）

https://scjgj.gz.gov.cn/ztzl/bzhzt/gzsdfbzzqyj/content/post\_10144709.html

広東省広州市発展改革委：2025年省エネ・排出削減技術利用典型事例募集事業通達

https://fgw.gz.gov.cn/gkmlpt/content/10/10141/post\_10141955.html#481

広東省広州市天河区：美しい国民スポーツ大会推進方案　7大分野、具体的任務16件を含む

https://www.cenews.com.cn/news.html?aid=1200160

広東省深圳市生態環境局：深圳市ニアゼロカーボン排出区実証事業検収評価の常態化に関する通達

https://meeb.sz.gov.cn/xxgk/qt/tzgg/content/post\_12058027.html

広東省恵州市生態環境局、市財政局：突発的環境事故緊急対応徴用・緊急対応補償実施細則

https://shj.huizhou.gov.cn/zwgk/zcwj/gfxwj/content/post\_5472841.html

重慶市人民代表大会常務委員会2025年立法計画

　重慶市水資源管理条例（改定）　重慶市節水条例（制定）

　重慶市新エネ車発展促進条例（制定）　重慶市固形廃棄物環境汚染防止条例（制定）

　重慶市建築ゴミ管理条例（制定）　重慶市土壌汚染防止条例（制定）

　重慶市都市排水・汚水処理条例（制定）

https://www.cq.gov.cn/zwgk/zfxxgkml/szfwj/qtgw/202503/t20250306\_14378887.html

重慶市政府：『重慶市人を基本とする新型都市化戦略5年行動計画徹底実施方案』

https://www.hbzhan.com/news/detail/185333.html

重慶市生態環境局：『重慶市CFP管理体系構築加速実施方案（パブコメ版）』

https://sthjj.cq.gov.cn/igixmj/gkyjzj/202503/tOpinion\_6136.html

四川省経済・情報化庁、省生態環境庁：『四川省ゼロカーボン工業団地実証事業建設方案』

https://www.ccn.ac.cn/policies-and-regulations/g-lcd/5581.html

団体基準

中国石油・化学工業連合会（CPCIF）：

・『GHG 製品カーボンフットプリント（CFP）定量化方法・要求 水性接着剤』パブコメ版

・『GHG 製品CFP定量化方法・要求 本体型接着剤』パブコメ版

http://www.cpcif.org.cn/detail/a5e2295e-c3d0-46a7-badf-24c32a95b22d

中国国際工程諮問協会：『建設事業GHG排出全プロセス管理基準』（T/CAIEC063-2025）

https://www.ttbz.org.cn/Home/Show/96991

中国産業発展促進会：『再生可能メタノール』（T/CAPID011-2025）

https://www.ttbz.org.cn/Home/Show/97317

中国ガラス繊維工業協会：『Eガラス繊維電子布単位製品あたりエネ消費上限値』（T/CFIAB4-2025）

https://www.ttbz.org.cn/Home/Show/97327

中国化学・物理電源産業協会：

・『電池パスポートガイドライン』パブコメ版

・『カスケード利用動力用LIB性能評価規範』パブコメ版

https://www.ciaps.org.cn/news/show-htm-itemid-39833.html

重慶市環境科学学会：『重慶市廃鉛蓄電池環境管理規範』（T/CQSES24-2025）

https://www.ttbz.org.cn/Home/Show/96867

## **【重点企業・工業団地リスト（先週8リスト）】**

工業・情報化省：『合成アンモニア産業規範条件』適合企業リスト（第1次）、『カーバイド産業規範条件』適合企業リスト（第1次）

https://www.miit.gov.cn/zwgk/zcwj/wjfb/gg/art/2025/art\_8bbf15c321f04a69896933e50a95c0d5.html

上海市生態環境局：危険廃棄物経営許可証リスト

https://sthj.sh.gov.cn/hbzhywpt1103/hbzhywpt1112/20200302/0024-141005.html

江蘇省蘇州市生態環境局：蘇州市危険廃棄物経営許可証所持事業者　2025-2

https://sthjj.suzhou.gov.cn/szhbj/gfgl/202503/07d83a74f8244f9e90049a9cd9453433.shtml

江蘇省南通市生態環境局：南通市2024年環境情報法的開示企業リストの調整に関する公示

http://sthjj.nantong.gov.cn/ntshbj/tzgg/content/87e32d60-f3ab-4d8d-979b-0b93b27e1de8.html

浙江省生態環境庁：浙江省重点産業大気汚染防止パフォーマンス等級区分A・B級・牽引級企業リスト（2025年第1次）に関する公示

https://sthjt.zj.gov.cn/art/2025/3/4/art\_1385790\_58958134.html

湖北省武漢市生態環境局：2025年武漢市環境情報法的開示企業リストに関する公示

https://hbj.wuhan.gov.cn/fbjd\_19/zc/sthjjwj/tzgg/202503/t20250304\_2543945.html

広東省佛山市工業・情報化局、市生態環境局：佛山市2025年CP（クリーナープロダクション、清潔生産）審査対象企業リスト

https://sthj.foshan.gov.cn/gkmlpt/content/6/6278/post\_6278973.html#1421

重慶市生態環境局：重慶市2024年第2次「無廃棄物都市細胞」リスト

https://sthjj.cq.gov.cn/zwgk\_249/zfxxgkml/zcwj/qtwj/202503/t20250304\_14369901.html

## **【環境プロジェクトリスト（先週3リスト）】**

水処理入札事業まとめ（3月3日～7日）

https://huanbao.bjx.com.cn/news/20250307/1430913.shtml

洋上風力発電事業7件が第1次CCER(中国認証済み排出削減量)を取得

https://www.china5e.com/news/news-1185905-1.html

上海市発展改革委：上海市2025年省エネ・排出削減特定資金及び超長期特別国債資金手配計画（第3次）

https://fgw.sh.gov.cn/fgw\_zyjyhhjbh/20250303/43c07950fa0f43a1b5dd5647e71bd753.html

## **【中央及び経済発達地区の週間環境処罰・取締情報(先週4件)】**

上場企業9社の環境リスクが顕在化　高能環境控股公司に罰金100万元

http://www.cenews.com.cn/news.html?aid=1200420

北京市生態環境局：2025年2月固定汚染源・建設事業・移動汚染源抽出検査事業実施状況

https://sthjj.beijing.gov.cn/bjhrb/index/ztzl/xzzfgslm/xzzfszgs/zfjg/xzjc/543545304/index.html

江蘇省南通市生態環境局：処罰免除・軽減リスト及び行政強制措置免除リスト

http://sthjj.nantong.gov.cn/ntshbj/tzgg/content/374f49af-b6c6-41b8-ad79-fde06fdf567b.html

重慶市：第2巡目第2次生態環境保護定例査察チームのフィードバック状況

https://www.chndaqi.com/news/356542.html

# 生態環境省：京津冀第3次監督・支援事業を立ち上げ

　生態環境省は3月3日、2025年第3次監督・支援事業に関する通達を公布し、担当職員リストを公開した。監督・支援期間は3月3日～3月20日とし、その対象地域は次の通り。

・北京市、天津市

・河南省：鄭州市、開封市、濮陽市、安陽市、鶴壁市、新郷市、焦作市

・河北省：石家荘市（辛集市を含む）、邯鄲市、邢台市、衡水市、保定市（定州市、雄安新区を含む）、滄州市、廊坊市、秦皇島市、唐山市

・山東省：済南市、済寧市、荷澤市、淄博市、濱州市、聊城市、徳州市

＜生態環境省ウェブサイトより＞

https://www.mee.gov.cn/ywgz/sthjzf/qhjd/202503/t20250303\_1103241.shtml

## **【中央の環境政策、法令、基準、規則、計画】**

# 全人代報告：グリーン・低炭素分野の内容

　国家発展改革は3月5日、『2024年国民経済・社会発展計画の実施状況と2025年国民経済・社会発展計画の草案に関する報告書』を全人代の審議のため提出した。このうち、グリーン・低炭素分野の内容は次の通り。

■2024年国民経済・社会発展計画の実施状況

　生態文明建設を揺るぎなく推進し、全面的グリーン転換は大きく進展した。①生態環境質は向上し続けている。青空・水環境・土壌環境保護戦を強化し、プラスチック汚染と過剰包装の全作業チェーン対策を強化した。②生態系保護・修復を絶えず強化した。『生態保護補償条例』を公布した。③GHGピークアウト・カーボンニュートラルを推進し大きく進展した。GHG排出二重規制制度体系の構築を急ぎ、国家GHGピークアウト実証事業を推進した。2024年版グリーン・低炭素転換産業指導リストとグリーン技術普及リストを策定した。風力・太陽光発電の総発電設備容量は14億kWを超えた。原料エネ利用と非化石エネルギー消費量を除外した単位GDPあたりエネ消費量は3.8%減少、単位GDPあたりCO2排出量は3.4%減少、非化石エネルギーのエネ消費総量に占める割合は19.8%に高まった。④全面的な節約戦略を実施して顕著な成果を上げた。廃棄物循環利用体系の構築を加速した。

■2025年国民経済・社会発展計画の主な任務

　脱炭素、汚染削減、緑地拡大、経済成長を連携的に推進し、経済社会発展の全面的グリーン転換を急ぐ。①生態環境質の改善を継続する。大気環境質継続改善行動計画を実行する。長江・黄河等の主な河川と重要な湖沼の保護・修復を徹底する。土壌汚染源対策を強化する。固形廃棄物総合対策行動計画を策定する。②生態系保護・修復・浄化を強化する。③グリーン・低炭素発展を加速する。GHG排出二重規制制度体系を引き続き構築する。全国GHG排出権取引市場、GHG自主排出削減取引市場、グリーン電力証書市場の整備を推進する。第2次国家GHGピークアウト実証事業を着実に実施する。重点分野の省エネ・脱炭素改造とエネ利用設備の更新を加速する。「荒地や乾燥地帯」での新エネ発電拠点の建設を加速し、洋上風力発電拠点を秩序的に開発・建設し、新エネ電力の近場受入消費と外部送電線の建設を統合的に行う。新型蓄エネ系統連系管理を更に規範化する。「エネルギー、水、穀物、土地、鉱物資源、材料」の一体型節約を継続推進する。循環経済を大々的に発展させる。

＜国務院ウェブサイトより＞

https://www.gov.cn/yaowen/liebiao/202503/content\_7010838.htm

# 生態環境省等：企業GHG情報自主開示に関する意見

　生態環境省、財政省等4省庁は3月3日、『企業GHG情報自主開示に関する意見』を公表した。 その概要は次の通り。

□主な目標

　2027年、企業GHG情報自主開示政策体系・技術基準を概ね構築し、企業の情報開示の積極性、開示の質、開示能力を有効に高める。2030年、企業のGHG情報自主開示の共通的枠組みと技術基準体系を更に整備し、企業の開示意欲、開示能力、開示の質を著しく高め、開示情報を広く活用する。

□主な任務

（1）企業GHG情報開示に付随の技術規範体系を構築

　国家GHG排出係数データベースの構築を加速し、重点産業企業GHG排出算定方法・報告書ガイドラインを整備する。国家統一の持続的開示準則体系を整備し、「企業持続的発展開示準則　第1号-気候」を制定し、企業GHG情報自主開示指針を制定し、企業がGHG情報開示を行うよう指導する。製品CFP（カーボンフットプリント）算定・情報開示に関連する基準を制定し、企業が製品レベルのGHG排出情報を開示するよう指導・支援する。

（2）企業GHG情報開示の形式とルートを豊富化・拡充

　企業のGHG情報自主開示サービスプラットフォームを構築し、企業のGHG情報自主開示内容を集中的に開示し、開示サービスプラットフォームを基に情報共有メカニズム構築を推進する。企業がGHG情報自主開示の年次報告書を作成・公開するよう支援する。また、GHG情報を持続的発展報告書、ESG報告書、汚染排出許可証実行報告書、上場企業の年次報告書、社会的責任報告書などの形で公開するよう支援する。企業が臨時報告書の形で社会一般と投資家に重大な影響を与えるか市場リスクを引き起こすGHG排出行動を適時開示するよう奨励する。

（3）企業のGHG情報開示の利用場面を充実化

　企業が自主開示するGHG情報の第三者保証メカニズムを整備する。企業GHG情報自主開示政策体系とCFP管理体系との連携を強化し、サプライチェーン企業の自主開示したGHG情報を製品CFP算定に活用するのを強化する。企業自主開示GHG情報を、グリーン消費・グリーン貿易・グリーン金融等分野で活用するよう推進し、企業がGHG排出情報を積極的に開示するよう誘導する。金融機関が企業GHG情報を適切に活用し、関連するグリーン金融商品・サービスを開発・模索するよう奨励する。

（4）第三者機関が企業GHG情報開示の市場化サービスに積極的に参加するよう誘導

　第三者機関が企業に対して、排出データ算定、重要情報の確認、開示報告書の審査、排出水準の評価、投融資情報の連携などGHG情報開示に関連する市場化サービスを積極的に提供するよう誘導する。関連機関が企業GHG情報自主開示の年次進捗評価報告書を作成・公開するよう奨励する。

（5）企業GHG情報自主開示の先行試行を奨励

　GHGピークアウト実証都市・工業団地、低炭素実証省・市、気候適応型都市、気候投融資、汚染削減・脱炭素コベネフィットなど実証地域が、現地の実情と気候変動対策の事業手配を踏まえて、GHG情報自主開示を模索することを支援する。火力発電・セメント・鉄鋼・アルミ精錬・石油化学工業・航空・LIB・新エネ車・太陽光発電・電子電器など業界団体が、各産業の排出的特徴と気候変動対策の要求を踏まえて、産業内企業を組織してGHG情報の自主開示を先行試行するよう奨励する。

（6）企業GHG情報開示の国際協力を強化

　企業GHG情報自主開示関連の技術規範と、国際的GHG情報開示、持続的発展情報開示、ESG情報開示などの基準・規範との共同研究・連携を強化し、相互承認を推進する。企業GHG情報と持続的発展情報開示の国際協力を強化する。

＜生態環境省ウェブサイトより＞

https://www.mee.gov.cn/xxgk2018/xxgk/xxgk05/202503/t20250303\_1103199.html

# 国家税務総局：GHG排出権取引、CCER等に増値税6％を適用

　国家税務総局は先日、納税者がGHG排出権取引、認証済み自主排出削減量（CCER）取引を行った場合、「無形資産―その他権益性無形資産―割当量」の販売ということで増値税（付加価値税）を計算・納付するものとし、税率6％を適用すると明らかにした。

　このうち、重要な点は次の通り。①GHG排出権、CCER等の属性が「無形資産」であると明確になったことで、GHG排出権取引に適用する税種が直接決定し、中国法学界の長期の論争が終結した。②税種が「増値税」であると明確になった。③税率6%となった。

　無形資産とは、実物の形態を持たないが経済的利益をもたらす資産を指す。これに対し、金融資産はと実物資産の対称的概念であり、株式は典型的な金融資産である。株式取引時に増値税を納める必要はなく、売却時に1%の印紙税を納付する必要がある。今回、CCERは「金融資産」ではなく、「無形資産」であると判断された。

　全国GHG重点排出事業者がCCERを購入する目的は、GHG排出枠超過分相殺であり、排出枠順守後はCCERの再取引ができないため、CCERは金融商品とはならない。

＜中国環境報より＞

http://www.cenews.com.cn/news.html?aid=1200431

# 汚染源オンラインモニタリング設備調整期間のデータで処罰できるか

　汚染源オンラインモニタリングシステムの設置・調整期間、モニタリングデータの有効性・適合性について、そのデータは取締処罰の根拠にできるのか、企業がそのデータを理由に処罰されるのは適切か等、多くの論争を引き起こした。

■調整期間のデータの法的地位

　『汚染排出自動モニタリング設備マーキング規則』等の関連規定によると、汚染源オンラインモニタリング設備が故障・保守・調整等の特定の状況下で生成したデータは、異常値と見なせる。企業はオンラインモニタリング設備の設置・調整期間、設備故障や調整によりデータ伝送に異常が発生した場合、汚染排出事業者はこれら異常状態をマーキングする責任を有する。

（1）調整期間のデータマーキング規則

　自動モニタリング設備に対して、企業は次のマーキング規則を順守する必要がある。

　自動モニタリング設備の新規設置・移動・調整期間に、データ欠失・無効が発生する時間帯では、全モニタリングデータを「調整」状態としてマーキングするものとする。その期限について、1台あたり連続廃ガス排出モニタリングシステム（CEMS）の調整期間は168時間以内、廃水分析機器は72時間以内、データ収集・伝送機器は24時間以内とする。この規定によって、設備の設置・調整段階でコンプライアンス保護措置を定め、設備が調整段階にあることによる不必要な処罰も回避できる。

（2）データの適合性と検収フローは、『水汚染源オンラインモニタリングシステム検収技術規範』等指導文書に基づき、モニタリング設備の設置・調整・試運転の完了後に検収を行うものとする。検収合格条件を満たす設備は、規定の期限内に届出を終える必要がある。

■対比検査・処罰問題

（1）検収前の調整データ：調整期間のモニタリングデータが「調整」とマーキングされている場合、そのデータを取締り処罰の根拠にできない。企業が設備の調整期間に対比検査で不合格になった場合、環境行政部門はマーキング規則に基づき当該時間帯のデータを認定し、かつ処罰されないものとする。

（2）検収後の不合格状態：モニタリング設備が検収後に不合格の排出データが生じた場合、環境行政部門は法に基づき処罰する権限を有する。即ち、企業は検収後、設備の正常運行状態を保持する必要があり、不合格となる排出が発生すると、企業は相応の法的責任を負う必要がある。

＜捜狐ネットより＞

https://www.sohu.com/a/868143348\_121956424

# GB30000『化学品分類・ラベル安全規範 第X部：鈍性化爆発物』審査版

　工業・情報化省科学技術司は3月4日、GB30000『化学品分類・ラベル安全規範 第X部：鈍性化爆発物』の強制国家基準の審査版と作成説明を公表した。2025年3月11日まで意見募集を行う。

・作成の背景

　国務院は2011年、危険化学品安全管理条例を公布・施行し、『化学品の分類及び表示に関する世界調和システム』（GHS制度）を導入した。GHS第4改定版に基づき、GB 30000.2-29シリーズ基準を公布し、16種の物理化学的危険性、10種の健康有害性、2種の環境有害性を網羅した。GHS制度の継続的な更新に伴い、GHS第6改定版（現在は第10改定版）で鈍性化爆発物という新たな危険有害性区分が導入された。このため、今回の新基準は、適時更新・改定し、国際汎用基準と連携し、化学品安全規範の先進性と実用性を確保することを目的としている。

・主な内容

　同基準は、GHS第10改定版の第1.4章、2.17章、付録1、3の技術内容と一致している。既存の他のGB30000シリーズ分類基準と同様に、鈍性化爆発物の用語と定義、分類基準、判定方針と指導、ラベル要素などを規定している。鈍性化爆発物は、固体や液体の爆発性物質・混合物であり、鈍性化処理によりその爆発性を抑制し、全体的な爆発や急速な燃焼を引き起こさないようにしたものであり、このため「爆発物」危険区分には分類されない。

・基準の施行

　同基準の番号はGB30000.30となると見込まれる。化学品の生産・保管・輸送・使用などの段階で、企業はまず化学品の危険有害性分類識別を行い、その危険有害特性に一致する適合型SDS・ラベルを取得・伝達し、適切な安全技術措置を講じる必要がある。

＜瑞欧科技より＞

https://www.reach24h.com/chemical/industry-news/desensitised-explosives-standard

# 工業・情報化省：産業基準公示　CO2回収、グリーン工場評価等多数

　工業・情報化省は3月3日、「産業基準500件、産業基準外国語版8件、産業標準物質基準1件の上程に関する公示」を公表した。このうち、環境規制に係る内容は次の通り

□産業基準の基準番号・名称一覧

・SH/T 5002-2025　石油化学産業GHG排出管理　用語・定義

・SH/T 5004-2025　石油化学産業CO2回収技術規範 化学吸収法

・SH/T 5005-2025　石油化学産業CO2回収技術規範 工程設計

・YB/T 6389-2025　鉄鋼企業環境情報管理システム技術規範

・YS/T 1803-2025　銅加工廃水循環利用技術規範

・JB/T 15228-2025　バイオマス廃棄物メタンガス発電装置

・JB/T 14953-2025　環境保護機械産業　グリーン工場評価要求

・JB/T 14954-2025　グリーン設計製品評価技術規範 MBR

・JB/T 14955-2025　汚水処理用ポンプエネ効率規制値・等級

・JB/T 14956-2025　ボイラ製造業グリーン工場評価要求

・JB/T 14958-2025　変圧器製造業グリーン工場評価要求

・JB/T 14447-2025　電動機製造産業グリーン工場評価要求

・JB/T 15159-2025　グリーン設計製品評価技術規範 家庭用・類似用途コンセント

・JB/T 15087-2025　グリーン設計製品評価技術規範 デジタル制御工作機械

・JB/T 15408-2025　グリーン設計製品評価技術規範 機械圧力機

・JB/T 15409-2025　機械圧力機製造業グリーン工場評価要求

＜工業・情報化省ウェブサイトより＞

https://www.miit.gov.cn/zwgk/wjgs/art/2025/art\_6bbc59fb62fd424582832ba387614544.html

# 工業・情報化省：産業基準計画　廃車冷媒回収、石油化工スマート工場等多数

　工業・情報化省は3月5日、「産業基準計画事業318件への意見募集」を公表した。このうち、環境規制に係る内容は次の通り。

・QCCPZT0102-2025　廃棄エンジン車冷媒回収・再利用技術規範

・YDCPZT0103-2025　グリーン設計製品評価技術規範 通信ネットワーク用リチウムイオン電池（LIB）

・SHGCXT0379-2025　石油化学工業低温排熱回収システム設計規範

・SHGCXT0398-2025　石油化学工業騒音抑制設計規範

・SHGCZT0399-2025　石油化学工業スマート工場技術規範

＜工業・情報化省ウェブサイトより＞

https://www.miit.gov.cn/gzcy/yjzj/art/2025/art\_115bd5ac8d9344169370a74e348b04f8.html

## **【地方の環境政策、法令、基準、規則、計画】**

# 地方環境局：工業騒音・工業廃棄物を早急に排出許可に盛り込むよう通達相次ぐ

　生態環境省の通達では、各汚染排出事業者に対して2025年中に工業騒音・工業固形廃棄物管理事項を汚染排出許可証に盛込む変更・再申請手続きをするよう求めている。これを受け、各地方の生態環境局は、各汚染排出事業者に対し、その手続きを早めに行うよう通達を出している。2025年第1四半期に、排出許可・排出登記の騒音・廃棄物事項盛込み手続きを通達した地方の情報は次の通り。広東省惠州市惠陽区と広東省佛山市の通達内容は別記事を参照。

|  |
| --- |
| ・浙江省紹興市：排出登記https://sxepb.sx.gov.cn/art/2025/3/10/art\_1229602221\_4215238.html・福建省莆田市：排出登記http://www.pthj.gov.cn/zwgk/hjbh/qthjxgxxgk/202503/t20250305\_1976813.htm・広東省広州市白雲区：https://mp.weixin.qq.com/s?\_\_biz=MzA4OTc1NTAxNw==&mid=2247622131&idx=2&sn=3fd7f560748b70821afe365a85f6dd7f&chksm=9197060d59b4ad46613fc51c74669c2cacee75cc7149a961197c6bc8cbd955fda5172e5cb612&scene=27・広東省掲陽市：排出許可手続き期限2025年7月末https://gdee.gd.gov.cn/dsdt3071/content/post\_4676224.html・広東省惠州市惠陽区：排出許可手続き期限2025年7月末http://www.huiyang.gov.cn/hzhysthjj/gkmlpt/content/5/5459/post\_5459602.html#8526・広東省佛山市：排出許可手続き期限2025年7月末https://mp.weixin.qq.com/s?\_\_biz=MzU5MzQxNjYyOQ==&mid=2247641162&idx=1&sn=5e8a71ff560db53a369be5e071cc4569&chksm=ffdb6e6db44124759adef336c254624237009addb625aa3d02cacda4ed5efb719480c9aaa730&scene=27・広東省東莞市：排出許可手続き期限2025年7月末https://dgepb.dg.gov.cn/zwgk/tpxw/content/post\_4347901.html・広東省東莞市大嶺山分局：排出許可手続き期限2025年6月末https://www.cenews.com.cn/media-article.html?aid=27177&mediaID=1520・広東省スワトウ市濠江区：排出登記https://www.haojiang.gov.cn/gkmlpt/content/2/2418/post\_2418470.html#158 |

# 上海市生態環境局：2025年生態環境企業向け行政検査計画を配布

　上海市生態環境局は2月28日、『2025年上海市生態環境企業向け行政検査計画』を配布した。その概要は次の通り。

■主な任務

（1）大気環境・気候変動対応分野の行政検査

　大気汚染「工場別対策」を踏まえ、VOC重点排出企業特定検査を実施し、タンクと積替え作業の無組織排出、開放液面散逸、廃ガスバイパス、その他異常廃ガス排出等の深刻な問題の解決を推進する。中小ボイラ特定検査を行い、高汚染型燃料の使用、廃ガス処理施設の運行、廃ガス排出基準順守等状況を重点検査する。また重度大気汚染天候対応と秋冬季大気質保障特定行動を実施し、重度大気汚染天候緊急対応プランと関連措置の実行状況を重点検査する。非道路移動用機械特定検査を行い、使用過程非道路移動用機械の申告登記プレート貼付や黒煙排出等の状況を確認する。全国GHG排出権市場対象の重点排出事業者と上海市GHG排出権市場の排出枠対象事業者に対し、GHG排出権市場データ品質特定検査を実施する。

（2）水・海洋環境分野の行政検査

　廃水オンライン監視分野の問題を重点検査し、その改善を促す。汚水管網接続企業の廃水排出に対する監督検査を強化し、汚水前処理施設が環境アセス認可内容通りに建設・正常運行されているかを重点検査する。

（3）固形廃棄物分野の行政検査

　一般固形廃棄物分野の行政検査では、一般工業固形廃棄物発生・収集事業者、電子廃棄物解体利用事業者、生活ゴミ処分事業者・中継施設に対する検査を強化する。国と同市の危険廃棄物特定整備事業要求、危険廃棄物違法犯罪取締り事業要求を徹底し、危険廃棄物発生・利用・処分等事業者の特定検査を実施し、危険廃棄物全フロー監督管理を図る。

（4）土壌・地下水分野の行政検査

　土壌汚染重点監督管理事業者向け行政検査では、有毒有害物質地下タンクの情報送信、リスク調査改善、自社モニタリング方案の策定・実行等内容を重点検査する。土壌汚染リスク抑制・修復業者等分野の取締検査を行う。地下水環境の行政検査では、化学品生産企業、生活ゴミ埋立場、危険廃棄物処分場、地下水汚染防止重点汚染排出事業者、ガソリンスタンドの浸透防止措置の実行状況や、地下水モニタリング等の実施状況を重点検査する。新規化学物質等分野の検査を行い、新規化学物質の追跡規制検査を重点的に行い、重点規制新汚染物関連企業の日常監督検査を規範化する。

（5）第三者環境サービス機関への行政検査

　第三者環境サービス機関の偽造改竄問題の特定整備を継続する。市場監督管理等部局と共同で民間生態環境モニタリング機関（独立実験室を含む）に特定検査を行い、検査・測定等偽造改竄問題を厳格に取り締る。

（6）固定汚染源排出許可の行政検査

　同市固定汚染源総合監督管理情報システムに収載された固定汚染源を分類別に監督検査する。汚染排出許可証発行済の固定汚染源にリスト式検査を実施し、許可内容の適合性、汚染排出の許可順守、自社モニタリング、実行報告書、情報公開等制度の実行状況を重点検査する。汚染排出登記済の固定汚染源とその他固定汚染源に対し、登記すべきなのに未登記、登記情報と実情が一致しない等問題を重点検査する。

（7）建設事業環境保護の事中・事後行政検査

　『上海市建設事業環境保護事中・事後監督管理弁法』を厳格に実施し、監督管理対象の建設事業に対し事中・事後特定検査を実施し、同市「高エネ消費・高排出型」建設事業の事中・事後検査を重点的に強化し、環境アセス未認可着工、竣工後長らく検収しない違法行為を厳格に取り締る。

（8）モニタリング分野の行政検査

　自動モニタリング異常データ審査を常態化する。モニタリング部局が発見した取締モニタリング基準超過報告、自動モニタリング設備対比抽出検査による不合格報告、自社モニタリング質特定検査結果の不合格報告、自動モニタリング基準超過データ認定報告と異常データ分析報告書等の手がかりに対して、調査を行い、法に基づき違法問題を処罰する。

（9）原子力・放射線分野の行政検査

　『2025年上海市放射線安全監督管理事業要点』規定に基づき、放射線安全許可証検査、γ線移動式探傷試験、放射性物品輸送検査、放射線類建設事業事中・事後検査等事業を実施する。

（10）環境リスク調査の行政検査

　『上海市生態環境分野安全生産根本的解決攻略3年行動方案（2024～2026年）』の要求に基づき、『企業突発的環境事故リスク調査表（試行）』が明確にした事項を参照し、企業突発的環境事故リスク評価、環境安全リスク調査・対策、突発的環境事故緊急対応プラン届出、緊急対応設備・物資の備蓄、緊急対応研修、情報公開等事業要求の実行状況を検査し、リスクを全面的かつ深く調査する。

■検査原則

　生態環境法定権限の範囲内の検査対象に、等級別・分類別行政検査を実施する。「検査コード」等革新制度を十分活用し、「必要がない限り干渉しない」リスト内の行政検査事項と「無感知型監督管理」リスト内の行政検査対象に対して、非現場式を主とする行政検査を行い、むやみな検査を断固抑制する。

■実施

（1）企業向け検査行為を厳格に規範化

　市・区級の環境行政部局とその取締機関は、年次・月次・特定検査任務を科学的に定めて規範的に実行する。同市生態環境企業向け行政検査実施方案に基づき手配し、「検査コード」の申請取得・使用を規範化する。検査前、検査対象に「検査コード」と行政検査証書を自発的に提示し、立入検査を規範的に行い、行政検査プロセス・結果の記録を徹底する。

（2）計画任務の統合・融合化

　「1回のみの総合検査」要求を徹底し、固定汚染源汚染排出許可の総合検査を実施する。VOC関連大気汚染物、中小型ボイラ、ODS、一般固形廃棄物・危険廃棄物、地下水・土壌汚染対策、重金属関連水汚染物、汚水管網接続企業、汚水処理場、ガソリンタンク・ガソリン埠頭、企業自家用給油施設等特定検査任務と固定汚染源検査任務とを統合し、立入検査時に一括実施する。

（3）科学技術の活用を強化

　ビッグデータによるスクリーニング、自動巡回検査、スマート警報、状況感知等手段を十分に活用し、問題の手がかりを主動的に発見・識別し、問題発見のルートを拡げ、判断方式を改善し、非現場式検査能力を高める。

＜上海市生態環境局ウェブサイトより＞

https://sthj.sh.gov.cn/hbzhywpt2025/20250228/898a1ccdd7e9438fb3df9f6c2ef55cc8.html

# 上海市：環境アセス・排出許可制度連携改革で実証事業　企業負担軽減

　上海市生態環境局は3月4日『環境アセス・汚染排出許可「1括審査」改革実証事業の深化に関する実施方案』を配布し、「2許可証の統合」政策の土台の上で、さらに環境アセス・汚染排出許可制度の連携改革を強化し、計画環境アセスと建設事業環境アセスを連携させた産業団地内で環境アセス手続きを免除する「一括審査」改革実証事業を実施するとした。

　実証事業の範囲は、計画環境アセス連携対象の市内67ヶ所の工業団地内の集積回路・電子設備・新エネ車・ハイエンド設備・航空宇宙の5大基幹産業を網羅している。この実証事業は、環境リスクを制御可能で、信用度の高い優良企業を対象としており、生態環境区分別規制と工業団地計画環境アセス要求を満たす建設事業は、事業の「早期決定・早期稼働開始」を推進する。

　今回の実証事業は、「2つの免除と1つの優良」を核心とし、企業に3種の利便政策を提供している。①環境アセス報告表の作成と審査を免除する。条件を満たす建設事業は上海市「一網通弁（1ウェブによる全手続き）」プラットフォームを通して実証事業の申請資料を提出し、環境アセス報告書表を作成・審査する必要なく、汚染排出許可証を直接申請手続きできる。②建設事業の竣工環境検収を免除する。実証事業者は事業稼働開始後の検収モニタリングと報告書の作成を免除され、その代わり汚染排出許可証実行報告書を通して、建設・運営情報を動的に記録し、法に基づき開示する。③汚染排出許可証の手続きを最適化する。既に許可証を所持している企業は、汚染排出情報リストを申請表の代わりとし、書類の提出数を減らし、同時に重点汚染物質排出量の計算を簡素化できる。

　上海市は先日、『上海市環境アセス分類別管理工業団地実証事業の最適化方案』を策定し、生態環境省の認可を得て、上海化学工業区、張江科学城が全国第1次実証工業団地となった。このうち上海化学工業区の全域で、化学原料・化学製品製造業、医薬製造業、化学繊維製造業の3産業のうち、環境影響が比較的小さい一部事業で、環境アセス報告表対象の環境アセスを免除した。実証対象の上海化学工業区・張江科学城はそれぞれ、環境アセス報告表事業の約10%と70%で環境アセス手続を免除し、企業立上げ期のコストを大幅に削減した。

＜中国ニュースネット、上海市環境保護産業協会より＞

https://www.cenews.com.cn/news.html?aid=1200935

https://www.aepish.org.cn/news/show.php?itemid=2999

# 浙江省：15産業の環境面参入規制指導意見改定を解説

　浙江省生態環境庁は先日、「浙江省生活ゴミ焼却等15産業の環境面参入規制指導意見」記者会見を開催した。

　同指導意見の改定は、対象産業事業に対して、事業発生源の参入規制、汚染排出管理と汚染削減・脱炭素の具体的要求を明確にし、先進技術水準要求の達成を奨励するものである。

　今回の改定は、国と浙江省の産業政策関連規定に基づき、各産業の工程設備、CP（クリーナープロダクション・清潔生産）など具体的要件を明確にし、先進技術、CP方式、省エネ排出削減設備の使用を奨励し、産業全体の水準を高めるものである。例えば、『浙江省生活ゴミ焼却産業環境面参入規制指導意見』では、技術が先進的で成熟し、信頼性が高く、現地の生活ゴミ特性に適応性の高い焼却炉を選択し、エネルギー利用効率を積極的に高め、汚染・GHG排出を制御し、ゴミ焼却施設の規模や周辺の熱利用条件に応じて、排熱利用を奨励するよう明確にした。

　今回の改定ではこのほか、汚染防止措置の要求を明確にしており、各産業の排出特性に基づき、既存の地理的参入規制、工程設備などの要件に加えて、騒音汚染防止、土壌・地下水汚染共同抑制などの内容を追加し、「水・大気・土壌・騒音・廃棄物」を網羅する立体的規制ネットワークを構築した。

　今回の改定は、GHG、新汚染物、超低排出、総窒素規制など最新の管理要件と連携させ、汚染削減とGHG排出削減の連携を強化するものである。

＜中国環境報より＞

http://www.cenews.com.cn/news.html?aid=1200980

# 山東省記者会見：グリーン・低炭素事業状況を解説

　山東省政府広報弁公室は3月4日、「改革・イノベーションによる高品質発展の促進」記者会見を開催した。このうち脱炭素分野の概要は次の通り。

□エネ消費二重規制からGHG排出二重規制への転換に対する具体的措置

　①省級レベルから統合的に推進する。エネ消費総量・原単位二重規制からGHG排出二重規制に転換する国家級第1次実証地域8省に入り、実施方案を配布した。②市級レベルで実証事業を先行実施し、青島市・煙台市・徳州経済技術開発区の3都市（工業団地）を、国家第1次GHGピークアウト実証事業35件に盛り込むよう推進した。③工業団地レベルで積極的に模索し、全省で約15ヵ所の工業団地を選出して実証事業を行い、同省ゼロカーボン工業団地建設を点から面展開した。④企業レベルで重点事業を強化し、重点エネ利用事業者とGHG排出事業者向け省エネ・脱炭素管理強化事業方案を配布し、7産業17小分類のうち、年間総合エネ消費量が石炭換算1万トンや年CO2排出量2.6万トン以上の企業を対象に盛込み、エネ管理職位の構築・整備、計量器具の設置・使用の強化、GHG排出権市場排出枠順守等5分野の具体的事業任務を打ち出し、重点企業が省エネ・脱炭素体系を構築、制度を構築、能力を構築するよう推進した。⑤事業レベルの発生源を抑制する。固定資産投資事業GHG排出評価の試行に関する通達を配布し、石油化学・化学工業・建材・鉄鋼・非鉄金属・電力等GHG排出重点産業で、CO2年排出量2.6万トン以上の固定資産投資事業の新設・改造・拡張では、事業省エネ報告書の作成時に、GHG排出削減措置の章を単独で設け、事業GHG排出を分析・算定し、GHG排出削減措置を評価し、GHG排出削減措置の徹底を指導する。

□GHG排出権市場の動向、及びグリーン・低炭素転換への適応方針

　2024年末、同省は第3期（2023年度）排出枠順守事業を完成し、排出枠管理対象となる発電企業は268社となり、その順守排出枠は4.7億トン、企業数と順守量のいずれも全国首位であった。同省は2024年、重点排出事業者179社が取引に参加し、GHG排出枠の購入量は0.17億トン、成約額は15.72億元、販売量は0.29億トン、成約額は27.52億元、取引量は全国の1/4を占めた。

　国務院の『GHG排出権取引管理暫定条例』は2024年5月1日より施行された。これに伴う全国GHG排出権市場の変化としては、①対象産業の拡大：鉄鋼・セメント・電解アルミの3高エネ消費型産業は、全国GHG排出権市場に近く盛り込まれる見込みで、山東省では計105社が2025年末前に初回排出枠順守を図る必要がある。②排出枠の分配は厳格になり、企業グリーン転換を促進している。排出枠ベースライン（即ち産業別GHG排出原単位基準）は徐々に縮小し、企業の技術グレードアップを強いた。省内の従来型エネルギー企業の排出枠順守コストは上昇し、企業のグリーン転換を促進した。③データ監督管理体が更に整備され、国はGHG排出データ質の監督管理を強化し、対象企業はデータの透明度と正確性を高める必要がある。④GHG排出権市場の排出枠順守が更に厳格化され、重点排出事業者は規定通りGHG排出枠を順守しない場合、規定期限の市場取引平均成約額の5倍～10倍の罰金を科す。

□カーボンフットプリント（CFP）認証分野の進展・成果

　①CFP認証事業の統合的推進：同省CFP認証実証事業方案を公布し、CFP認証技術委員会・認証連盟の設立を指導し、GHG排出直接測定技術とCFP認証技術研究を推進し、技術力が優れ、GHG排出管理が規範的な企業が認証に参加するよう誘導し、産業チェーン川上・川下企業のCFP管理強化を促す。同省は現在、224社がCFP認証証書を338枚取得した。②CFPラベル認証国家級実証事業：2024年12月末、国家市場監督管理総局は、山東省が電解アルミ・タイヤ製品のCFPラベル認証国家級実証事業を行うことを認可し、現在、CFPラベル認証制度研究を実施し、実証事業に参加する企業と具体的製品を募集している。③間接GHG関連類の認証を宣伝・普及：現在、全省間接GHG関連認証証書は1万枚以上得て、全国第3位である。

□重点輸出企業はCBAM等に直面しているが、CFP管理の改善で状況打開を支援

　山東省生態環境庁、発展改革委、工業・情報化庁、商務庁、市場監督管理局5部局は、『CFP実証事業に関する通達』を共同配布し、同省の実情に立脚し、高規格の経済貿易規則に自発的に連携し、都市・産業・企業等多レベルから実証的に模索し、重点産業製品CFPデータを算定し、企業の脱炭素を支え、企業の国際グリーン貿易障壁対応を支援し、製品の低炭素競争力と貿易競争の優位性を高めていく。

　都市CFP実証事業分野では、青島市・煙台市・聊城市を対象にCFP管理体系実証事業を指導した。このうち、青島市は気候投融資実証事業を足がかりに、グリーン金融・ラベル認証・等級区分管理等分野から模索し、煙台市は重点輸出企業を足がかりに、産業・企業CFP算定・分析・応用を実施する。産業CFP実証事業分野では、同省の重点輸出産業と優位性産業を踏まえて、鉄鋼・タイヤ・紡織産業を選定し、業界団体、研究機関に委託してデータ研究を行い、地方CFP背景データを形成するとした。

　同省は現地CFP係数背景データベースを徐々に構築し、CFPデータ分析を通じて、製品生産の高GHG排出段階を見つけ出し、企業と川上・川下産業チェーンの省エネ・脱炭素潜在力を掘り起こし、サプライチェーン全作業チェーンのGHG排出削減を支援するとした。

＜山東省生態環境庁ウェブサイトより＞

http://sthj.shandong.gov.cn/ztbd/xwfbh/202503/t20250305\_4806560.html

# 広東省惠州市惠陽区：工業騒音・固形廃棄物の汚染排出許可管理を加速

　広東省惠州市生態環境局惠陽分局は先日、法に基づき徐々に工業固形廃棄物・工業騒音の排出許可管理導入を行うよう求めた。各汚染排出事業者は2025年7月末までに工業騒音・工業固形廃棄物の排出許可管理導入業務を全面的に完了する必要がある。

（1）事業目標

　2025年7月31日までに、区内の汚染排出許可証を持つ事業者が工業騒音・工業固形廃棄物の排出許可証管理導入事業を全面的に完了する。

（2）実施範囲

　『固定汚染源排出許可分類管理リスト（2019年版）』で汚染排出許可の手続き対象の工業固形廃棄物を発生する事業者と、『国民経済産業分類』（GB/T4754）で工業産業（産業区分はB、C、D）に属し、かつ同排出許可リストの第3類～第99類に属する排出許可管理対象で工業騒音を排出する事業者。

（3）適用基準

　廃棄物発生事業者の排出許可証における工業固形廃棄物関連事項の申請・発行では、「排出許可証申請・発行技術規範 工業固形廃棄物（試行）」（HJ1200-2021）の要求を適用する。

　工業騒音排出事業者の排出許可証における工業騒音関連事項の申請・発行では、『汚染排出許可証申請・発行技術規範 工業騒音』（HJ1301-2023）の要求を適用する。

（4）実施方式

　既に許可証を取得しているが、工業固形廃棄物（工業騒音）の環境管理要求が記載されていない事業者は、関連の産業別の排出許可証申請・発行技術規範と固形廃棄物（騒音）技術規範に基づき、排出許可証を再申請・取得する。新たな排出許可証には工業固形廃棄物（工業騒音）の環境管理要求を一括記載する。

　排出許可証を再申請する際、2025年5月31日までに全国汚染排出許可証管理情報プラットフォームを通じて工業固形廃棄物（工業騒音）排出許可証申請表を提出する必要がある。

＜恵州市生態環境局恵陽分局より＞

http://www.huiyang.gov.cn/hzhysthjj/gkmlpt/content/5/5459/post\_5459602.html#8526

# 広東省佛山市：工業騒音・固形廃棄物の排出許可管理への導入を加速へ

　広東省佛山市は、2025年中に工業騒音・工業固形廃棄物の汚染排出許可管理への導入を全面的に完成させる必要がある。同市は汚染排出許可証の発行企業数が膨大で、期限が近くなると申請手続きが集中してシステムがパンクし、申請手続きが進まず事後の資料審査・立入審査に影響することを避けるため、同市生態環境局は排出許可証取得済み事業者に対して、事前に入力して手続きを前倒しするよう提案し、2025年7月末までにシステムにアクセスして汚染排出許可証の記載情報を更新し、適時に許可証を取得できるようにするとした。

■実施範囲

（1）工業騒音の汚染排出許可管理対象：『国民経済産業分類』（GB/T4754）の工業産業（産業区分はB（採鉱業）、C（製造業）、D（電力・スチーム・ガス・水の生産・供給業））に属し、かつ『固定汚染源汚染排出許可分類管理リスト（2019年版）』の第3～第99類の汚染排出許可管理の対象となる工業騒音を排出する事業者。

（2）工業固形廃棄物の汚染排出許可管理対象：同リストに基づき汚染排出許可管理の対象となる工業固形廃棄物を発生させる事業者。

■実施手順

　「全国汚染排出許可証管理情報プラットフォーム」にアクセスし、再申請することで、工業騒音と工業固形廃棄物を汚染排出許可管理事項に追加する。工業固形廃棄物の環境管理要件のみ追加する場合、法に基づき汚染排出許可証の継続・再申請・変更申請により追加できる。

＜広東省佛山市生態環境局ウェブサイトより＞

https://mp.weixin.qq.com/s?\_\_biz=MzU5MzQxNjYyOQ==&mid=2247641162&idx=1&sn=5e8a71ff560db53a369be5e071cc4569&chksm=ffdb6e6db44124759adef336c254624237009addb625aa3d02cacda4ed5efb719480c9aaa730&scene=27

## **【環境ビジネス】**

# 全国GHG自主排出削減取引市場で第1次の認証済み自主排出削減量が登記

　3月6日、全国GHG自主排出削減取引市場で第1次の認証済み自主排出削減量（CCER）が登記された。今回のCCERは、江蘇省や甘粛省などの洋上系統連系風力発電、系統連系太陽熱発電事業により発生したものである。その排出削減量は、計948万トンCO2当量であり、今後10年間に年平均約359万トンのGHG削減を図る見込みである。

＜中国環境報より＞

http://www.cenews.com.cn/news.html?aid=1201558

## **【個別環境プロジェクト】**

# 安徽省馬鞍山市：中冶華天が年陡汚水処理場第1期・管網事業を落札

　3月4日、安徽省馬鞍山経済開発区南区（旧モデル工業団地）年陡汚水処理場（第1期）・管網EPCO事業の落札結果が公示された。中冶華天工程技術有限公司JVが見積額3.36億元で落札した。第1期の汚水処理場の計画処理能力は日量2.5万トン、汚水・汚泥処理構造物と付属建築物を建設する。

＜全国公共資源取引プラットフォームより＞

https://huanbao.bjx.com.cn/news/20250305/1430209.shtml

# 雲南省文山州硯山県：北エリア汚水処理インフラ建設事業で入札

　3月4日、雲南省文山チワン族ミャオ族自治州硯山県都市北エリア汚水処理インフラ建設事業（第1期）EPC入札公告が出された。同セクションの評価額は1.7億元、建設予定の汚水処理場の第1期処理能力は日量5000㎥である。

＜全国公共資源取引プラットフォームより＞

https://huanbao.bjx.com.cn/news/20250305/1430285.shtml

# 雲南省臨滄市雲県：北京国益が汚水ゴミ収集処理施設整備事業を落札

　先日、雲南省臨滄市雲県都市鎮汚水ゴミ収集処理施設改善工程（EPC）事業の落札公告が出された。北京中科国益環保工程有限公司が落札し、計画工期は730日、事業総額は2億元である。

　建設内容は次の通り。（1）汚水収集処理工程。汚水収集システム、汚水管網を61.97km新設する。汚水処理システムはMSC-MBBR一体型汚水処理施設を5ヵ所（9 台）新設し、その内訳は日量200㎥が2台、日量275㎥が1台、日量300㎥が6台である。処理能力日量2000㎥の汚水処理場を新設する。（2）ゴミ収集圧縮中継輸送工程の主な内容には、都市生活ゴミ収集・運搬システムを含む。

＜全国公共資源取引プラットフォームより＞

https://huanbao.bjx.com.cn/news/20250305/1430365.shtml

# 四川省眉山市：海天股份が汚水処理事業を落札

　海天股份水務股份有限公司は3月5日、「四川省眉山市ハイテク産業団地汚水処理場3期事業（施工、運行）セクション」の落札通知書を受領し、3.3億元で落札したと公表した。

　同事業の総額は6.23億元、計画施工期は540日、運営期間は3年である。汚水処理能力日量5万㎥の工業団地汚水処理場を建設し、インフラ付随工程を整備する。今回の入札は、前期の日量3万㎥の工業汚水処理と日量5万㎥の補助施設建設等である。

＜北極星環境ネットより＞

https://huanbao.bjx.com.cn/news/20250306/1430491.shtml

## **【その他環境情報（先週5件）】**

2024年工業団地グリーン発展政策

http://www.cenews.com.cn/news.html?aid=1200080

生態文明制度体系を深化・改善へ

http://www.cenews.com.cn/news.html?aid=1200082

2024年集塵産業概説及び2025年発展展望

https://huanbao.bjx.com.cn/news/20250305/1430323.shtml

2024年土壌・地下水修復産業概説及び2025年発展展望

https://huanbao.bjx.com.cn/news/20250304/1430071.shtml

中華環境保護連合会カーボン資産・グリーン転換委員会が発足

https://www.hbzhan.com/news/detail/185264.html

## **【カーボンニュートラル（先週0件）】**

## **【環境展示会・シンポジウム情報】**(新規/更新情報は赤字)

□CIRSグループ2025年グローバル化学品法規制フォーラム-上海

2025年3月19日　上海市及びオンライン（主催：杭州瑞旭科技集団有限公司）

https://www.jetro.go.jp/newsletter/shanghai/2024/CIRS%20Forum.pdf

□第15回中国国際クリーンエネルギー博覧会（CEEC2025）及び第3回中国蓄エネ大会

2025年3月26日～28日　北京市（主催：中国電力企業連合会等）

https://www.ceec-bj.cn/

□化学品2025制度適合性シンポジウム

2025年3月27日　上海市（主催：杭州瑞欧科技有限公司、共催：化学工業日報社）

https://www.imeeton.com/applyList/2aa1a70d47874338b391f185b2e7d69b/

□第23回中国国際環境展覧会及び2025生態環境産業革新発展大会

2025年4月10日～12日　北京市（主催：中国環境保護産業協会）

http://www.caepi.org.cn/epasp/website/webgl/webglController/view?xh=1728635170241083992576

□2025年「美しい中国」デジタル化対策シンポジウム

2025年4月12日～13日　天津市（主催：中国環境科学学会）

http://www.chinacses.org/web/139/202502/5801.html

□2025年生態環境機能材料イノベーションシンポジウム

2025年4月19～20日　北京市（主催：中国環境科学学会、清華大学、北京工業大学）

http://www.chinacses.org/web/139/202502/5799.html

□第3回中国カーボンファイナンスフォーラム

2025年4月19～20日　上海市（主催：中国省エネ協会、中国品質認証センター）

http://www.yrdcpcn.com/c198/20250208/i282078.phtml

□2025年環境技術大会

2025年4月20日　上海市（主催：中国環境科学学会、メッセミュンヘングループ等）

http://www.chinacses.org/web/139/202501/5771.html

□中国国際環境博覧会（上海，IE-EXPO2025）

2025年4月21日～23日　上海市

（主催：メッセミュンヘン、中貿ミュンヘン展覧（上海）有限公司，日本代理：日中環境協力支援センター）

http://www.jcesc.com/ieexpo/

□2025年有機固形廃棄物処理・資源化利用シンポジウム

2025年5月10日～12日　陝西省西安市（主催：中国環境科学学会）

http://www.chinacses.org/web/139/202502/5830.html

□第6回中国国際化学工業プロセス安全シンポジウム及び危険化学品安全技術・緊急対応設備展覧会

2025年5月27日～29日　山東省烟台市（主催：中国化学品安全協会）

https://6thpsm.chemicalsafety.org.cn/

□中国国際環境博覧会（成都）

2025年6月25日～27日　四川省成都市

（主催：メッセミュンヘン、中貿ミュンヘン展覧（上海）有限公司）

https://cd.ie-expo.cn/

□中国国際環境博覧会（広州）

2025年9月17日～19日　広東省広州市

（主催：メッセミュンヘン、中貿ミュンヘン展覧（上海）有限公司）

https://gz.ie-expo.cn/

□2025年都市環境汚染モニタリング・修復国際学術会議（UEPMR 2025）

2025年10月10日～12日　江蘇省蘇州市

https://www.ais.cn/attendees/index/U3AARJ

　日中環境協力支援センター有限会社

　　URL　http://www.jcesc.com　E-mail:onogi@jcesc.com

※本ニュースへのご意見、ご要望をお待ちしております。

※『週刊メルマガ【中国環境・化学品・エネルギーレポート】』との併用をお薦めします。詳細は「http://www.jcesc.com/melma/」をご参照下さい。

※本誌掲載記事の無断掲載、転送を禁じます。